

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科目区分	その他	授業の方法	演習
科目名	柔道整復医学演習V		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎303
担当教員	川村智広・仲村剛 岩村一成・林了大・澤 卓実	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
国家試験における柔道整復学各論の必修範囲を中心に柔道整復学の復習を行う						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験にて記述試験を行う 期末試験評価:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:柔道整復学・理論編(南江堂) 参考図書:標準整形外科学(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
講義の内容確認の為、小テストを次回講義で毎回行います 学んだことを定着させるように、配布したプリントの内容を中心に復習しておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
講義・勉強は基本的に紙の上の二次元ですが、人体は三次元です。その違いから想像・理解に困難を招きやすくなります。 配布したプリントの内容を中心に復習しておくこと						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	頭部。顔面部の軟部組織損傷について質問や問題についてこたえられるようになる	配布プリント	・左記内容について教科書を見直しておく	
		各コマにおける授業予定	上記範囲について柔道整復師として知っておくべき内容を学ぶ			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	胸部・脊椎の軟部組織損傷について質問や問題に答えられるようになる	配布プリント	・左記内容について教科書を見直しておく ・前回講義内容の復習をしておく	
		各コマにおける授業予定	上記範囲について柔道整復師として知っておくべき内容を学ぶ			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	脊椎の軟部組織損傷について質問や問題に答えられるようになる	配布プリント	・左記内容について教科書を見直しておく ・前回講義内容の復習をしておく	
		各コマにおける授業予定	上記範囲について柔道整復師として知っておくべき内容を学ぶ			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢の軟部組織損傷について質問や問題に答えられるようになる	配布プリント	・左記内容について教科書を見直しておく ・前回講義内容の復習をしておく	
		各コマにおける授業予定	上記範囲について柔道整復師として知っておくべき内容を学ぶ			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢の軟部組織損傷について質問や問題に答えられるようになる	配布プリント	・左記内容について教科書を見直しておく ・前回講義内容の復習をしておく	
		各コマにおける授業予定	上記範囲について柔道整復師として知っておくべき内容を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢の軟部組織損傷について質問や問題に答えられるようになる	配布プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容について教科書を見直しておく ・前回講義内容の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	上記範囲について柔道整復師として知っておくべき内容を学ぶ		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢の軟部組織損傷について質問や問題に答えられるようになる	配布プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容について教科書を見直しておく ・前回講義内容の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	上記範囲について柔道整復師として知っておくべき内容を学ぶ		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢の軟部組織損傷について質問や問題に答えられるようになる	配布プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容について教科書を見直しておく ・前回講義内容の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	上記範囲について柔道整復師として知っておくべき内容を学ぶ		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢の軟部組織損傷について質問や問題に答えられるようになる	配布プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容について教科書を見直しておく ・前回講義内容の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	上記範囲について柔道整復師として知っておくべき内容を学ぶ		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢の軟部組織損傷について質問や問題に答えられるようになる	配布プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容について教科書を見直しておく ・前回講義内容の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	上記範囲について柔道整復師として知っておくべき内容を学ぶ		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	ラウゲ・ハンセンの分類について質問や問題に答えられるようになる	配布プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容について教科書を見直しておく ・前回講義内容の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	上記範囲について柔道整復師として知っておくべき内容を学ぶ		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	四択問題を通じて再度「柔道整復学・各論」の知識を深める	配布プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・前回講義内容の復習をしておく ・教科書を見直し復習しておく
		各コマにおける授業予定	四択問題を中心に行い、答え合わせと解説を加える		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	四択問題を通じて再度「柔道整復学・各論」の知識を深める	配布プリント	教科書を見直し復習しておく
		各コマにおける授業予定	四択問題を中心に行い、答え合わせと解説を加える		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	四択問題を通じて再度「柔道整復学・各論」の知識を深める	配布プリント	教科書を見直し復習しておく
		各コマにおける授業予定	四択問題を中心に行い、答え合わせと解説を加える		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	「柔道整復学各論」全般を理解し、問題を解けるようになる	配布プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を見直し復習しておく
		各コマにおける授業予定	まとめ		